

「新しい時代に向けたパラスポーツ」

～ 活動機会拡大のための連携へ ～

1. 目的 障がい者スポーツ指導者が、研修において様々な情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めると共に、指導者の資質向上につなげることを目的とします。
2. 主催 公益財団法人日本パラスポーツ協会
3. 後援 兵庫県、神戸市、公益社団法人こうべ市民福祉振興協会
4. 協力 ひょうご障害者スポーツ指導者協議会、障がい者スポーツ指導者協議会近畿ブロック、公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会
5. 主管 第16回障がい者スポーツ指導者全国研修会実行委員会
6. 会場 しあわせの村（兵庫県神戸市北区しあわせの村1-1） <http://www.shiawasenomura.org/>
アクセス：公共交通機関または車利用（詳細はHPでご確認ください。）
 - ・公共交通機関利用の場合、JR三宮駅・JR神戸駅等より路線バス
 - ・車利用の場合、駐車場あり（有料）※宿泊者、障害者手帳所持者等は無料
7. 開催方法 現地会場での開催、またはweb参加での開催 【ハイブリッド方式での開催】
 - ※web参加での開催については、分科会以外を会場からのLive配信とし、各分科会については、開催後オンデマンド配信します（期間限定、約1か月）。オンデマンド配信は、演習を除いた講義部分のみとなります。
 - ※現地参加者も、オンデマンド配信での視聴（全分科会含む）が可能です。
 - ※主催者の判断にて、すべてがweb参加に変更になることもあります。

8. 日程

【現地参加者】

1日目 令和3年12月11日（土）

受付	11:30～	
開講式	12:10～12:30	（Live配信あり・オンデマンド配信あり）
基調講演	12:30～13:30	（Live配信あり・オンデマンド配信あり）
シンポジウム	13:40～15:15	（Live配信あり・オンデマンド配信あり）
分科会	15:30～17:30	（Live配信なし・オンデマンド配信あり）

2日目 令和3年12月12日（日）

分科会	9:30～11:30	（Live配信なし・オンデマンド配信あり）
閉講式	11:45	（Live配信あり・オンデマンド配信あり）

※分科会については、1日目・2日目を「同じ内容」の講義・実践とします。

2日間でそれぞれ異なる分科会への参加が可能です。

※各分科会においては、会場定員の都合上、参加人数を調整する場合があります。

【web参加者】

1日目 令和3年12月11日（土）

開講式	12:10～12:30	（Live配信）
基調講演	12:30～13:30	（Live配信）
シンポジウム	13:40～15:15	（Live配信）

2日目 令和3年12月12日（日）

閉講式	11:45	（Live配信）
-----	-------	----------

開催後（約1か月間※日程調整中）

開講式・基調講演・シンポジウム・各分科会（内容限定）・閉講式
オンデマンド配信を実施

9. 内 容 ※各講義においては、状況により発表者・講師がweb参加になる場合があります。

[基調講演 12/11 12:30~13:30]

テーマ： パラスポーツの世界から地域共生社会を考える

発表者：藤田 紀昭 氏（日本福祉大学 スポーツ科学部長）

- ・スポーツ庁「スポーツ審議会スポーツ基本計画部会」委員
- ・日本パラスポーツ協会技術委員会副委員長

パラリンピック後のパラスポーツの展望及び障がい者スポーツ指導者に求める取り組みについて、お話しします。藤田氏の近著である「障害者スポーツの世界から地域共生社会を考える（療育援助）」から指導者が地域共生社会に貢献できる具体的なご提案を頂き、また、パラリンピックの盛り上がりを活かした指導者の活動を考察します。

[シンポジウム 12/11 13:40~15:15]

座 長：藤田 紀昭 氏（日本福祉大学 スポーツ科学部長）

課題提案： 『JPSA 2030年ビジョン』に向けて指導者に求めること

シンポジスト：三上 真二 氏（公益財団法人日本パラスポーツ協会 スポーツ推進部部長）

新たなJPSAのビジョンの概要、指導者に求める行動指針をご説明いただきます。個々の指導者のみならず、各ブロックの役割、都道府県・市の障がい者スポーツ指導者協議会及び、障がい者スポーツ協会との連携についての課題をお示しいただきます。

シンポジウム： ～指導者協議会各事業部会長からの報告（活動の概要と今後に向けて）～

シンポジスト：植田 敏郎 氏（障がい者スポーツ指導者協議会 研修部会長）

藤尾 博子 氏（障がい者スポーツ指導者協議会 指導部会長）

辻 啓司 氏（障がい者スポーツ指導者協議会 情報部会長）

門田 正久 氏（障がい者スポーツ指導者協議会 トレーナー部会長）

障がい者スポーツ指導者協議会における各事業部会長の目的、今までの活動内容をご説明します。藤田氏・三上氏からの提言を受け、今後の各事業部会の活動方針や具体的な活動計画をお示しします。参加者からのご質問、ご要望を各事業部長からご説明いたします。

[分科会 12/11 15:30~17:30・12/12 9:30~11:30]

分 科 会 テ ー マ / 研 修 内 容

第1分科会「車いす使用者のレクリエーション

（集団における楽しみの活動を通じて、心地よい時間を共有する生きがいづくりをめざして）」

講 師：野々村 和子 氏（大阪市長居障がい者スポーツセンター）

車いすのレクリエーションについて、車いすのことを知る、車いすを利用される人を理解します。身体・脳・心の健康に良い影響を与えるレクリエーションプログラムを進めるにあたって、指導者に求められるスタンスを考えます。福祉・スポーツレクリエーションの現状や課題、その効果について。車いすのレクリエーションの種類、方法、対象者に応じて、反応や表情、環境などを考慮し、プログラムの立案を考えるキャリアアップ、スキルアップをめざします。

第2分科会「知的障がい・発達障がいのある子どもの特性とスポーツ指導場面における支援のあり方」

講 師：竹中 正彦 氏（兵庫県立姫路しらさぎ特別支援学校／はりま発達障害ネットワーク）

知的障がいや発達障がいのある子どもたちは、身体機能上の障がいがなくとも、ぎこちなさや不器用さを併せ持つことが少なくありません。そのような子どもたちの特性についてお話しするとともに、具体的なスポーツの指導場面において、どのような支援の方法が適切であるか事例を通して、皆さんと一緒に考えていきます。

第3分科会「スポーツメンタルトレーニングの基礎」

講 師：中山 亜未 氏（大阪体育大学）

競技場面で実力を発揮するためには、技術面や体力面などと同様に、心理面の強化も重要となります。本分科会では、「なぜ心理面の強化が必要なのか」、「スポーツメンタルトレーニング（SMT）とは何か」、「どのようなSMT技法があるのか」といった基礎的な内容を学びます。また、各選手の障がい特性を考慮したコミュニケーション方法を再確認し、SMT技法が障がい者スポーツの指導現場にどう活かせるか、皆さんと一緒に考えていきます。

第4分科会「高齢者のフレイル予防に役立つ運動プログラム～チェアエクササイズ®～」

講師：竹尾 好恵 氏 (NPO 法人1億人元気運動協会)

チェアエクササイズ®は、イスを有効に使った科学的根拠のあるプログラムで高齢者・低体力者にすすめられる運動です。本分科会では、指導者や地域リーダーが地域で取り組める要素をピックアップして、高齢者の総合的な運動機能改善を目的としたチェアエクササイズ®を講義や実技・演習を通して取り組んでいきます。

第5分科会「指導員の活動を始めよう (ローンボウルズ体験)」

講師：児島 久雄 氏 (NPO 法人ローンボウルズ連盟) ※屋外又は屋内での実技となります

「障がい者スポーツ指導員資格を取ったけれど活動の始め方がわからない」「まだ障がいのある方と接する機会が少なく不安がある」、そんな指導員の声が多く聞かれます。まず障がいのある方と一緒にスポーツを楽しんでみませんか？本分科会では、「兵庫県障害者ローンボウルズ連盟」に所属する方たちと一緒にローンボウルズの楽しさに触れながら、サポートの仕方や指導法について学びます。

第6分科会「コロナ禍における指導者の活動実態と行動を考える

～府県障害者スポーツ協会主導型から自立自主活動への行動変容～

司会：増田 和茂 氏 (近畿ブロック副ブロック長)

発表者：①吉田 克則 氏 (兵庫県) ②松下 有香子 氏 (和歌山県) ③福西 拓也 氏 (大阪府)

コロナ禍におけるパラスポーツの活動は、自粛・延期・中止のなかで活動の有無や内容について地域それぞれで異なります。その実態状況を明示し、振り返りと検証を行うことが知的(情報)財産となり、今後の行動計画を再考する契機となります。また、これまでの会員(指導者)の活動は府・県・市町や障がい者スポーツ協会などが提示する大会行事などへの「参加型」が主であったことは否めません。この現状から「活動を創出」という将来像を考えることが急務となります。

10. 参加対象者 および 参加費

参加区分により、参加費が異なりますので確認ください。参加形式による変更はございません。

参加区分	対象者	金額
①	障がい者スポーツ指導員(初・中・上級)、障がい者スポーツコーチ 障がい者スポーツトレーナー、障がい者スポーツ医	3,000円
②	資格取得認定校関係者	3,000円
③	資格取得認定校在学生	2,000円
④	その他	4,000円

※区分①は令和3年度の登録が完了している方です。未更新の方は、登録完了後にお申込ください。

11. 申込方法

申込みについては、現地参加およびWeb参加のどちらかをご選択ください。

web参加者には視聴にあたっての詳細をお知らせします。

申込期間内に、下記の方法での「申込み」と「参加費の入金」についてお手続きください。

①申込期間

令和3年10月1日(金)～令和3年10月31日(日)

②申込方法

1) 専用申込フォーム(デジエントリー)での申込み

下記URL、もしくは右のQRコードを活用してください。

アカウントの登録が必要となります。

<https://dgent.jp/e.asp?no=2100540>



2) 申込書での申込み

○所定の申込書に必要事項を記入し、以下の送付先まで郵送にてお申込みください。

○申込書は、日本パラスポーツ協会のホームページよりダウンロードできます。

https://www.jsad.or.jp/leader/leader_workshop_skill-up.html

送付先

〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津 2-1-46 アミティ舞洲内
近畿ブロック障がい者スポーツ指導者協議会事務局
第16回全国研修会参加申込 係

③参加費の入金

申込みとあわせて、参加費のご入金をお願いします。

金額は参加方法・参加区分により異なります。10. 参加対象者 および 参加費をご参照ください。

1) 専用申込フォームでの申込み

デジエントリーから、クレジットカード・ペイジー・コンビニ決済にて入金ください。

2) 申込書での申込み

指定の入金先へ入金ください（申込書内に記載）。

※入金に伴う手数料等については、各自でご負担いただきますようご了承願います。

※納入された参加費は、主催者の責による事由で開催を中止した場合以外、原則返金いたしません。

1 2. 参加決定

○web での申込み、申込書の送付および参加費の入金をもって、研修会の参加が決定となります。

○参加が決定された方へは、申込期間終了後に研修会の詳細案内を送付、またはメール送信いたします。

1 3. 参加キャンセル

○参加キャンセルの場合は、12月3日（金）までに下記お問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

○ご入金された参加費は、返金いたしませんので予めご了承ください。

1 4. 報告書

○本研修会の内容をまとめた報告書を作成いたします（完成・お届け予定、令和4年3月頃）。

○お申し込みの方法については、参加者へ別途案内いたします。

1 5. その他

○本研修会は、当協会が定める「講習会・研修会開催における新型コロナウイルス感染症対策」に沿って実施します(https://www.jsad.or.jp/news/detail/20210421_002420.html)。

・現地での参加者は、研修会14日前より体調チェックシートの記入、当日に提出をお願いします。

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止や変更（日程や定員の削減、オンライン配信による研修会の実施等）が生じることがあります。

○web 参加にあたっては、以下の環境が整っていることをご確認ください。

・パソコンまたはタブレット端末等を所有している。

・Wi-Fi または光回線等による安定したネットワーク環境がある。

※ネットワーク環境の整備及び受講に係る通信費等は、参加者の自己負担となります。

○しあわせの村は、宿泊が可能です。ご希望の方は予約センター 078-743-8000（9：00～18：00）まで。

予約時に「障がい者スポーツ指導者全国研修会参加者」であることをお伝えください。

○本研修会では、交流会の実施、およびキッズルームの設置はいたしません。

○研修会開催中において、記録・報告用の写真を担当者が撮影いたします。予めご了承ください。

○研修会終了後、受講証明書を配布いたします（web 参加者はアンケートを実施し、返答後に送付予定）。

○本研修会は、障がい者スポーツ医の資格更新条件の指定研修会となります。

○本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の研修実績となります。

（ただし、日本スポーツ協会と日本パラスポーツ協会双方の資格所持者対象）

※詳細は日本スポーツ協会ホームページ等を確認ください。

【問い合わせ】 ※研修会全体に関する問い合わせ先です。申込先ではありませんのでご注意ください。

◎公益財団法人日本パラスポーツ協会 スポーツ推進部 小塩・小島

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 EDGE 水天宮ビル 3F

TEL：03-5695-5420 FAX：03-5641-1213 E-mail:touroku127@parasports.or.jp

※（公財）日本障がい者スポーツ協会は、令和3年10月1日より（公財）日本パラスポーツ協会へと名称変更いたしました。